

慢性肝疾患における肝線維化の非侵襲的評価 FibroScan の使用経験から

松本 照雄 早田 哲郎 西澤 新也
森原 大輔 田中 崇 上田 秀一
阿南 章 竹山 康章 入江 真
岩田 郁 釈迦堂 敏 向坂彰太郎

福岡大学医学部消化器内科

要旨：超音波を利用して肝弾性度を測定する FibroScan を使用する機会を得たため、さまざまな肝疾患患者の肝弾性度を測定し、血液学的パラメーターとの比較を行った。年齢 \times AST [IU/l] (血小板数 $[10^9/l] \times$ ALT [IU/l]⁵) で表す FIB-4 値が肝弾性度とよく相関し、一般外来診療において有用と考えられたが、極端な血小板低下がある症例では過大評価する可能性があり、注意を要すると考えられた。

キーワード：FibroScan, 肝弾性度, FIB-4, 慢性肝疾患